



## 教育と産業の振興

な ら やす の  
奈 良 靖 規

(81歳)

住所

鹿角市

奈良氏は、長年にわたり教師として子弟の教育にあたるほか、大湯公民館長、旧大

湯町及び十和田町の教育長を歴任し、この間、特に教職員の研修に意を注ぐとともに、

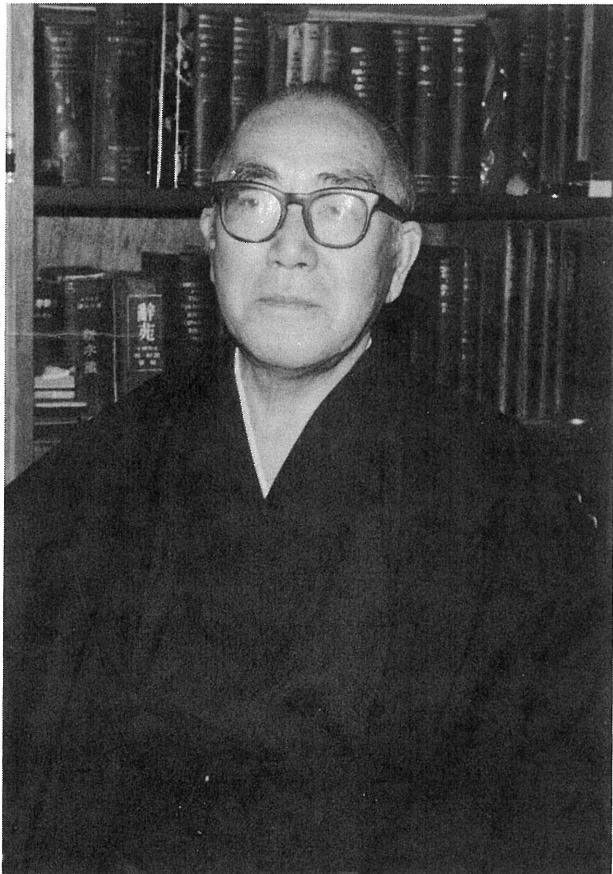
地域に立脚した教育の確立に尽力した。

また、鹿角産業文化研究会を結成し、豊富な地場資源の活用による山菜加工品等の

観光みやげの開発に努めるほか、地元の伝統工芸品である大湯こけしの保存を図るた

め技術者の養成に努め、現在の大湯こけしの基盤を築き上げるなど地域産業の振興に

大きく貢献している。



## 地下資源の開発

か が や ぶん じ ろう  
**加賀谷 文治郎**

(79歳)

住所

秋田市

加賀谷氏は、大正10年秋田鉱山専門学校に奉職以来、40年余りにわたり金属鉱床、

鉱物学の研究指導にあたり、特に昭和18年以来黒鉱の研究に着手し、黒鉱開発の端緒

を開くとともに、鉱業博物館の建設にあたり委員長として事業推進に尽力するなど鉱

業の振興に大きく貢献している。

また、秋田市文化財保護審議会会長の要職を兼ねるかたわら、菅江真澄150年祭実行

委員長として、「菅江真澄と秋田」を発刊するなど、学術、文化の振興にも寄与している。



## 美術工芸の振興

たか はし ち ょ さぶ ろう  
高 橋 千代三郎

(71歳)

住所

秋田市

高橋氏は、40年余りにわたる教職のかたわら、鍛金及び彫金の習得に研さんを積み、

帝展、日展等各種展覧会で数多く入選するほか、昭和34年以来県展委員として審査指

導にあたるとともに、学校教育においても一貫して美術工芸部門を担当するなど、美

術工芸技術者の指導育成に努めている。

また、昭和36年には秋田県工芸家協会を創設し、長年にわたり会長として工芸技術

の向上、デザイン等の改善研究に努めるなど、本県美術工芸界の発展に大きく貢献している。



## 民俗芸能の保存育成

たか すぎ ぜん まつ  
高 杉 善 松

(63歳)

住所  
鹿角市

高杉氏は、目が不自由であるにもかかわらず、幼少の頃から三味線、横笛の習得に

研さんを積み、刻苦勉励のすえ氏独特の芸域を作りあげた。

特に、秋田県無形民俗文化財指定の「花輪ばやし」や、情緒豊かな「町踊り」における旋律は、氏の長年にわたる努力の結果一段の隆盛をみたものであり、中でも

「町踊り」17曲の弾き語りは、郷土の山河や人情を軽妙、洒脱、哀歎こもごも唄い上げ、無形民俗文化財の伝承者として郷土芸能の保存育成に大きく貢献している。



## 俳句の普及指導

あん どう い お え  
安 藤 五 百 枝

(62歳)

住所

秋田市

安藤氏は、青年時代から俳句の道に精励し、昭和22年には俳誌「ほむら」を発行す

るほか、県内の俳人の親睦と研究機関である秋田県俳句懇話会の代表幹事として会の

運営にあたるとともに、各種俳句大会の審査員を兼ねるなど、第一線の作家としての

みならず後継者の指導育成に努め、本県俳句界の発展に大きく貢献している。

また、芸術文化全体について高い識見を有し、各種芸術文化団体の役員として芸術

文化の振興に寄与している。



## 華道の普及指導

寺田正伍

(九空)

(62歳)

住所

秋田市

寺田氏は、竹青会家元として長年にわたり華道の普及指導に努めるとともに、昭和

24年には秋田県華道連盟を創設して県内華道会の結束を図り、各種展覧会活動を推進

するなど、本県華道の振興に大きく貢献している。

また、芸術文化団体の交流、研さんを図るため、秋田県芸術文化団体連盟等各種芸

術文化団体の設立に尽力するほか、昭和50年から秋田県芸術文化協会会长として本県

芸術文化の向上に努めている。



## 日本画の創作と普及指導

よこ やま ツ エ  
横山 ツエ

(津恵)

(62歳)

住所

秋田市

横山氏は、若くして院展所属の日本画家として研さんを積み、昭和26年院展に初入

選して以来、本年まで入選25回うち受賞6回を数え、その作風は、現代的な鋭い感

覚、豊かな彩調に加え、的確な素描力を駆使したスケールの大きさを誇り、昭和48年

には日本美術院特待に推挙されるなど、同展の新しい方向の担い手として高く評価さ

れている。

この間、昭和27年から秋田大学において日本画の指導を担当するほか、各種美術展

の審査員として後継者の指導育成に努め、美術文化の向上に大きく貢献している。